

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習 3B											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務経験	有	職種	デザイナー				
授業概要											
この科目を受講する学生は、CAD・CGソフト(Rhinoceros)によるモデリングの応用操作を修得します。自分のアイデアをデジタル3Dで表現する際に必要な技術と操作を理解します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ実践的なデジタル技術を学び、理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「3Dソフト ライノセラス」に関連する操作を理解し、3Dデザインをする際に必要なスキルを積極的に学び、プレゼンテーションができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
学生が有機形状の モデリング、レンダリングに取り組むことで3D・CADを応用モデリングを学び、2D作図・3Dモデリング3Dレンダリング操作の修得を目的としています。プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な3Dデジタル技術や知識を向上させること、段階的に サイズ、カラー、素材 の選択、仕上げをデータ上で制作し、3Dプリンターで出力可能なデータを制作することができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
講師からの3Dモデリングの制作技術の解説を受けます、有機形状化粧品ボトルの 2D作図と3D モデリング、レンダリングの操作が出来る一連の流れを実習を通して学ぶ授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「3Dデジタルの技術」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分のアイデアの「有機形状化粧品ボトル の3Dデータ制作」「化粧品ボトルディスプレイの3Dデータ制作」を実践し、提案できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
プレゼン 課題完成度 リサーチ 平常点	20% 40% 20% 20%	製作物の発表方法、内容 クオリティ・提出期限厳守 製作準備と過程 積極的姿勢・周囲のサポート									
履修上の注意											
基礎的な実習として、学生に3Dモデリング技術を磨き、実習を通して学びデジタルデータを作成します。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	応用モデリング① / 有機形状化粧品ボトルモデリング										
第2回	応用モデリング② / 有機形状化粧品ボトルモデリング										
第3回	応用モデリング③ / 有機形状化粧品ボトルモデリング										
第4回	応用モデリング④ / 有機形状化粧品ボトルモデリング										
第5回	応用モデリング⑤ / 有機形状化粧品ボトルモデリング										
第6回	応用モデリング⑥ / 有機形状化粧品ボトルモデリング										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 3B	
第7回	応用モデリング⑦ / 有機形状化粧品ボトルモデリング
第8回	応用モデリング⑧ / 有機形状化粧品ボトルモデリング
第9回	応用モデリング⑨ / 有機形状化粧品ボトルモデリング
第10回	応用モデリング⑩ / 有機形状化粧品ボトルモデリング
第11回	応用モデリング⑪ / 化粧品ボトルディスプレイ
第12回	応用モデリング⑫ / 化粧品ボトルディスプレイ
第13回	応用モデリング⑬ / 化粧品ボトルディスプレイ
第14回	応用モデリング⑭ / 化粧品ボトルディスプレイ
第15回	課題提出/総評 / 課題提出/総評 未提出確認